

# 深草こどもの家 創立 1979年

深草こどもの家の創立者・赤羽恵子は、ヨーロッパで5年にわたる“新教育の動向”研究中、1963年に日本人で初めて、国際モンテッソーリ・ディプロマ(モンテッソーリ教師資格免許)をドイツのケルン市で取得しました。帰国後、京都、東京にてモンテッソーリ教育実践を開始。上智社会福祉専門学校講師、国立富山大学教育学部助教授としてモンテッソーリ教育の普及に努めましたが、本格的なモンテッソーリ教育の実践を行うために、京都市伏見区に「深草こどもの家」を設立いたしました。



縫い刺し (針に糸を通して)

靴をあらう

色水実験



構成三角形

料理活動 卵焼きをつくる

木工活動



地球儀から始まる地理

世界地図パズル

写真を見て世界への興味を広げる

## ■ここは、人間社会の縮図です■

人は書物よりも、人から一番多くのことを学びます。様々な人間が生活し、多種多様な考え方が存在する私たちの人間社会では、「多種多様な人間と付き合うことのできる自分創りをしていくこと」が、将来の豊かな人生につながるのです。私はこの深草こどもの家で、ありとあらゆる経験をし、かけがえのない自分創り(人格を構築する力)の礎を築き、生き抜く力を身につけてほしいと考えています。そして、自分に自信をもって、それぞれの豊かな人生に向かって巣立ってほしいと願っています。(創立者赤羽恵子の言葉)



### ☆ 深草こどもの家の教育実践が本になりました

モンテッソーリ教育について大変わかりやすく解説しており、入門書としても多くの方にご愛読いただいています。

創立30周年記念後援会企画 2012年初版出版

定価 1,100円(税込み)

Amazon、深草こどもの家事務にてお買い求めいただけます。

クラス	年少児から年長児までの異年齢混合クラス 東組:28名、西組:28名(2020年9月現在)
保育時間	8:30~14:30 (年少児4月~8月まで13時降園水曜休み)
預かり保育	14:30~16:30
送迎	園バス2台あり。ルートは在園児の住まいに応じ変わります。遠方から電車や車で送迎する方もいます。
昼食	お弁当
駐車場	あり
その他	園に隣接する農園で野菜を育て、こどもたちと収穫します。その野菜を使った料理活動をしています。

大きな大根がとれました!



エンドウ豆の収穫



豆ごはん作り

Montessori Kinderhaus Fukakusa, Kyoto

3~6歳児のための、自分で考え自分を育てる  
モンテッソーリ教育実践



Japan Association Montessori (JAM)  
日本モンテッソーリ協会(学会)公認  
京都モンテッソーリ教師養成コース付属

友好学園

# 深草こどもの家

〒612-0817

京都市伏見区深草向ヶ原町17番地

TEL: (075)641-8410

FAX: (075)642-8588

Email: [mc.kyoto@theia.ocn.ne.jp](mailto:mc.kyoto@theia.ocn.ne.jp)

URL: [www.fukakusakodomonoie.com](http://www.fukakusakodomonoie.com)

[www.facebook.com/fukakusakodomonoie](https://www.facebook.com/fukakusakodomonoie)

<https://www.instagram.com/fukakusakodomonoie>



HP



facebook



Instagram

## 「深草こどもの家」は

竹林と雑木林の丘の上にあります。四季折々の自然の変化、訪れる野鳥たち、自然の恩恵をいっぱいに感じます。子どもは自然(空気、光、水、土、草花、樹木、虫、鳥、小動物、そしてなによりも人間…)に直接触れることによって、それらを全身で吸収していきます。自分の五感をつかい、自分の足で歩き、手を使い、宇宙の不思議を体験していきます。このとき感じ取ったものが、その子の将来の考える力、表現する心を育てていくと信じております。

\* 深草こどもの家は JAM 公認京都モンテッソーリ教師養成コース付属の教育実習園です。全国から現役の幼稚園教諭・保育士が学びに通っています。そのため実習生(有資格者・現役の教師・保育士)が保育に参加します。良い教育の全国普及のため、皆様のご理解をお願いいたします。

## モンテッソーリ教育とは

イタリア初女性医学博士マリア・モンテッソーリ(1880~1952)によって確立された教育方法です。1907年、ローマ郊外に初めて「こどもの家」が設立され、モンテッソーリ教育を受けた



M.モンテッソーリと子ども

子どもたちは素晴らしい成長を遂げて、世界中の注目を集めました。以後、欧米を中心に世界各国に普及し、日本でも1970年からモンテッソーリ教師養成コースがスタートし、以後多くの幼稚園・保育園で取り入れられています。

## 自分で自分を教育する

モンテッソーリ教育はこどもの内面にある成長の原動力を引き出し、生き生きとした豊かな人間性を育むための教育方法です。子どもは、自分で自分をより豊かに教育する力があります。教師が教室で知識を与えるのではなく、自らの自然な成長リズムに従って活動を選び取り、夢中に、真剣に取り組む経験をたくさん積み重ねることによって、自分で学んでいくのです。

## こどものための家

モンテッソーリ教育の実践には、子どもが自由に学ぶきっかけがたくさんある環境づくりが最も大切です。なぜなら、すべての生物は自分に最も適した環境でこそ力強く生きることができるように、幼児期(人間になる初期)の環境は、その人の全生涯に深い影響を及ぼすからです。こどもの家とは、やりたいことを自ら選び取って、満足するまでやれる、こどものための『自由な学び』の生活空間、「家」なのです。こどもの家では子どもが“世界を把握する”ために自分の手、感覚を使って理解できるよう、すべて本物を扱い、具体物を準備し、子どもに与えます。

## モンテッソーリ教師

こどもの自然な発達の法則(\*敏感期)に留意し、室内外の環境を準備し、整えます。子ども一人ひとりがやりたいことをやりたいだけ出来る時間を保障します。愛情のこもった語りかけも、こどもの心を豊かにします。「ダメ!」の一言で抑えるのではなく、子どものなりの考え方を聞いたうえで、大人が洗練された言葉で説明すると、子どもはまわりの人の心の内を読み取り、言葉を使って問題解決ができるようになります。

\*敏感期…今まさに発達しつつある能力が最大限に伸びる時期  
言語、秩序、運動、感覚、数…など様々な敏感期がある。

## 縦割り子ども社会

子どもにとって必要なのは、多種多様な子どもがいる「子ども社会」です。年齢の異なる子どもたちが大勢いる生活環境の中で、子どもたちは自然に色々な仲間を観察し、模倣し、学んだり、教えたりしながら、自分も他の子どもも変わり、全体が成長していくのです。また、大きな子どもがしているのを「見て学び」、自分で「やって学び」、上手に出来るようになったら、今度は小さい子どもに「教えて学ぶ」(良く理解していないと人に教えることはできません)。縦割り子ども社会には3回学びのチャンスがあります。

## ■一人ひとり違うのがあたりまえ■

大人の社会には、人より早くしなければならぬことが多くあります。でも子どもの教育に関しては、急いでいいことはひとつもない。子どもは生来の自然の法則に従って育ちます。

“一人ひとりのこどもは、同じやり方で教育されたいとは思っていない”のです。どの子どもも皆、性格が違います。変化に富んだ自然豊かなこの園で、それぞれが好きなものから、興味を持ったところから、自由にやりたいことを選びとり、全員が違うやり方で自然に伸びていく姿を、私は何十年も見てきました。(創立者 赤羽恵子の言葉)



色あつめ



くつみがき



ちょうの飼育と観察



園庭でカナヘビをつかまえた!



穴をほったり、みずをくんでいたり…  
宇宙の不思議を感じています。



針の穴に糸を通すのを手伝ってもらった年少児  
じーっとよく見えています。